

平成 17 年 7 月 19 日
電 源 開 発 株 式 会 社

Ｊパワー「チリ グラネロス工場燃料転換」国連 CDM 理事会で登録
～ 日本政府承認案件として 4 番目～

電源開発株式会社（社長：中垣喜彦^{なかがきよしひこ}、以下「Ｊパワー」）が取り組むクリーン開発メカニズム（以下「CDM」）プロジェクト案件のうち、チリ グラネロス工場燃料転換プロジェクトは 7 月 18 日付けで国連 CDM 理事会により CDM プロジェクトとして登録されました。日本政府承認案件としては 4 件目となります。

本件は、2004 年 7 月 22 日付で日本政府の承認を取得し、DOE*によるプロジェクトの有効化審査を終えた後、2004 年 11 月国連に登録を申請しておりました。本年 2 月と 5 月に開催された理事会の審査を経て、今般、登録が認められたものです。

Ｊパワーは、このほか方法論が承認されている案件 1 件を含め、現在 9 件の CDM 案件に取り組んでいます。今後も、地球規模での費用対効果を考慮して、CDM をはじめとした京都メカニズムの活用にもむけ、積極的に取り組んでまいります。

*DOE（指定運営機関）：CDM プロジェクトとしての適格性を評価・判断し、有効化を行う機関として CDM 理事会から指定される

<チリ グラネロス工場燃料転換プロジェクトについて>

ホスト国（実施国）	チリ
プロジェクトの概要	チリ国グラネロス町にある食品製造会社ネスレ・チリ S.A. 社の工場の熱源であるボイラー、ファーンラス、コーヒーロースターなどの設備について、石炭および石油燃料から天然ガスへの燃料転換を図る
削減ガス	二酸化炭素
予想削減量	40 万 8200 t（2004 年～2024 年の 21 年間）
経緯	2003 年 7 月 ホスト国チリ政府承認 2004 年 6 月 方法論承認 2004 年 7 月 日本政府承認 2005 年 2 月 第 18 回 CDM 理事会にて審査 2005 年 5 月 第 19 回 CDM 理事会にて審査 2005 年 7 月 CDM 理事会による登録承認

以 上

別紙：JパワーのCDMプロジェクト一覧、グラネロス位置図